

<<令和2年度長期研修生 研究主題一覧>>

県総合教育センター研修企画部
(所属校は令和2年度)

番号	研修分野	氏名	所属校	研究主題	掲載号
1	国語	阿部 大輔	浦安市立美浜南小学校	表現の工夫を効果的に説明する書くことの学習指導	菊
2	国語	内田 瑞恵	船橋市立法典西小学校	小学校国語科におけるNIE教育に関する研究	菜
3	国語	川名 洋一郎	木更津市立木更津第一小学校	自らの考えを形成し読書の愉しさに気付く読者の育成	桜
4	社会	永瀬 悟	市川市立塩焼小学校	「社会的現象の見方・考え方」を働かせ、思考力、判断力、表現力を成長させる単元モデルの作成	蓮
5	社会	江橋 公祐	八千代市立勝田台小学校	選択・判断をする力を養う社会科学習の授業展開	梅
6	社会	田口 敬一	我孫子市立我孫子第三小学校	防災意識を高める社会科学習の在り方	萩
7	社会	水口 陽介	鎌ヶ谷市立東部小学校	批判的思考力を育成する小学校歴史学習の構想	菜
8	社会	高橋 堅介	成田市立公津の杜小学校	社会形成力を高める小学校社会科の構想	桜
9	社会	堤 隆平	山武市立睦岡小学校	地域社会の一員としての自覚を高めるための社会科学習の在り方	菊
10	社会	前田 康貴	館山市立房南小学校	課題解決に向けて社会への関わり方を選択・判断する力を育成する指導方法の在り方	菊
11	社会	須釜 昇平	船橋市立大穴中学校	地理的分野における社会参画意識を育む授業づくり	萩
12	算数	齋藤 寛	匝瑳市立平和小学校	算数科における統合的・発展的な考え方を育成する指導の研究	萩
13	算数	齋藤 淳司	銚子市立船木小学校	プログラミング的思考の要素を取り入れた数学的な思考力を高める算数指導	萩
14	算数	布留川 正己	山武市立日向小学校	統計的な見方・考え方を育成するための算数科指導	菊
15	算数	高岡 顕慎	いすみ市立大原小学校	算数科における自らの学習を振り返ることのできる児童の育成	梅
16	算数	若島 秀和	木更津市立畑沢小学校	既習の内容と結び付けて解決の見通しがもてる児童の育成	菜
17	数学	東平 幸	佐倉市立西志津中学校	中学校数学科「図形」における問題をつくり関連付ける活動を取り入れた授業の工夫	桜
18	理科	高橋 優樹	習志野市立東習志野小学校	アサガオに替わる植物を使った授業展開の実践的研究	萩
19	理科	中谷 和弘	松戸市立根本内小学校	理科の考え方を働かせる理科授業の提案	菊
20	理科	伊橋 辰弥	成田市立成田小学校	自己の将来につながる理科教育の在り方	梅
21	理科	重村 英伸	茂原市立緑ヶ丘小学校	生命を尊重する態度を育てる理科教育	菜
22	理科	賀藤 亮平	茂原市立東中学校	主体的・対話的で深い学びを実践するための教材開発	桜
23	美術	大浜 美樹	船橋市立宮本中学校	当事者性のある主題設定とデジタル活用を踏まえた鑑賞活動	梅
24	体育	渡邊 和紀	八千代市立南高津小学校	児童の自己有用感を高める体育学習の指導	蓮
25	体育	巻島 瑛貴	柏市立柏第一小学校	体育科における「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた学習指導の在り方	萩
26	体育	幸口 英	松戸市立小金小学校	ゲーム(ゴール型ゲーム)における『思考力、判断力、表現力』を高める体育学習の追求	梅
27	体育	武田 涼	成田市立美郷台小学校	攻守一体ネット型ゲームを対象とした思考力を高める学習指導の検討	菊
28	体育	佐藤 俊之	御宿町立御宿小学校	「運動をする事・体を動かす事が大好き！」な子供の育成	菜
29	体育	宇畑 比路美	鋸南町立鋸南小学校	跳び箱運動における思考力・判断力・表現力を高める体育指導の在り方	桜
30	保健体育	栗原 美和	習志野市立第四中学校	中学校体育授業におけるグループ学習と学級集団意識の関連性	梅

31	技術・家庭	山田 裕也	南房総市立富浦中学校	生物育成の技術における学習指導の方法	萩
32	小学校外国語	矢代 朋美	茂原市立東郷小学校	絵本を活用した効果的な指導法	菊
33	道徳	小笠原 由香	船橋市立飯山満小学校	自尊感情を育む総合単元的な道徳プログラム	梅
34	道徳	藤ヶ崎 逸人	香取市立小見川東小学校	最高学年として目指す姿について考えを深める道徳学習	菊
35	道徳	串田 篤則	市原市立市西小学校	「シビックプライド」の涵養をねらいとした道徳教育プログラムの実践	菜
36	総合的な学習の時間	杉本 一生	我孫子市立新木小学校	総合的な学習の時間を中核として学校教育目標を具現化するカリキュラム・デザイン	菜
37	総合的な学習の時間	菅沼 得理香	流山市立小山小学校	総合的な学習の時間における評価規準の精緻化による「学びに向かう力、人間性等」の育成	萩
38	特別活動	大竹 雅史	神崎町立神崎小学校	児童の危険予測能力・危険回避能力を育てる防災教育の在り方	梅
39	学校・学年・学級経営	坂口 彩奈	野田市立尾崎小学校	通常の学級における認知行動療法の視点を取り入れた学級経営	菜
40	学校・学年・学級経営	下大澤 翔吾	市原市立国分寺台西小学校	「いじめ対応」に関する研修プログラムの開発	桜
41	生徒指導	川畑 理気	市川市立国府台小学校	個を大切にした学級(学校)における自己肯定感の育成	菊
42	現代的 教育課題	本橋 一浩	柏市立富勢西小学校	教科の学びにつながるプログラミング教育	桜
43	その他	金坂 いづみ	船橋市立小室中学校	学校現場における教員のコンプライアンス	萩
44	知的障害	野井 泰子	市川市立須和田の丘支援学校	「10までの数・わくわくプログラム」を活用した数の指導の在り方	菊
45	知的障害	大竹 和則	県立八日市場特別支援学校	知的障害特別支援学校高等部における防災教育の在り方について	梅
46	知的障害	阿部 初美	県立八千代特別支援学校	知的障害特別支援学校における「見る力」を育てる指導	菜
47	肢体不自由	柳沼 史義	県立袖ヶ浦特別支援学校	重度・重複障害のある生徒の自立活動の指導の在り方	桜
48	病弱・身体虚弱・ 重度・重複障害	藤村 鉄平	県立長生特別支援学校	自立活動の指導における外部専門家による訓練の記録とその活用に関する研究	菊
49	インクルーシブ 教育	神田 慶嗣	県立君津特別支援学校	特別支援学校と中学校の交流及び共同学習(学校間交流)に対する概念と意識の調査を基にした「授業プランニングシート」開発に関する研究	萩
50	特別支援 教育課題	高橋 大悟	習志野市立大久保東小学校	ユニバーサルデザインに基づく教室環境と授業改善の有用性に関する検討	梅
51	特別支援 教育課題	石羽根 里美	県立夷隅特別支援学校	児童生徒のキャリア発達を促すためのキャリア・パスポートの活用	菜
52	特別支援 教育課題	土肥 靖人	県立特別支援学校流山高等学園	軽度知的障害者の自己決定支援についての考察	桜
53	教育臨床	亀井 綾子	柏市立酒井根東小学校	教育相談体制を支える同僚性	桜
54	教育臨床	大金 文晶	県立安房特別支援学校館山豊分校	教育相談体制を支える同僚性	桜
55	企業等派遣	足達 正明	県立松戸高等学校	先進企業に学ぶこれからの働き方	萩
56	企業等派遣	田窪 宰久	県立八日市場特別支援学校	豊かな就労生活を送るための支援を考える	菊
57	企業等派遣	小枝 有希恵	県立特別支援学校流山高等学園	職業自立・社会自立に必要な生徒の資質・能力の育成	梅
58	企業等派遣	志田 美由紀	県立千葉特別支援学校	「UNITEDプロジェクト」今できることを考える	菜
59	企業等派遣	木河 政浩	大網白里市立大網東小学校	球団の組織マネジメントの手法をこれからの学校経営に生かす	梅
60	企業等派遣	安田 淳	館山市立第一中学校	企業経営から学ぶ業務改善の方策と人材育成	菜
61	企業等派遣	原口 明雄	県立四街道特別支援学校	組織における効率的なマネジメント経営について	萩
62	企業等派遣	渡邊 大雅	県立流山北高等学校	教育的課題を民間企業の業務と経営手法から考える	桜

- ・研修区分の教科等、特別支援教育、教育臨床については、教育コンテンツ・データベース「Wakaba」で閲覧することができます。
- ・千葉県総合教育センターWebサイトトップページ→学校支援／授業支援→学習指導案等で検索してください。

長期研修制度の概要

県総合教育センター研修企画部

1 はじめに

長期研修生制度は、千葉県の誇る研修制度の一つで、教諭や管理職の立場で1年間大学や企業等を主たる研修場所として実践的な研修を行うものである。「令和3年度長期研修実施要項」をもとに、その目的、求める研修生像、研修区分を以下に紹介する。

2 目的

この研修は、千葉県公立学校教員長期研修要綱に基づき、長期の研修として現職の教員に対し、公務による長期の研修の機会を与え、学校教育実践上の諸課題に関する研究を行うとともに、諸研修を通して教育専門職としての資質能力を高め、本県教育の推進者及び指導的な立場の教員を育成することを目的とする。

3 千葉県の求める長期研修生像

- (1)研究・研修テーマが明確であり、本県や地域等の教育課題の解決に向け意欲をもって取り組む者
- (2)研究・研修計画・内容・方法に具体性があり、実現に向けた実行力を備えている者
- (3)長期研修終了後、県や地域、児童生徒・教職員に研修成果の還元が期待でき、かつ、今後、指導的立場として中核となっていく意欲のある者
- (4)日常の教育実践や研修に意欲的であり、その経験が豊かで身に付いている者

4 研修区分

研修区分は以下のとおりである。

- (1)教科等研修
- (2)特別支援教育研修
- (3)教育臨床研修
- (4)期日指定研修
- (5)企業等派遣研修

どの研修も「主体的」であることが求められるが、長期研修は特に「自主的に」「主体的に」行うことが求められる。受け身の姿勢では決して1年間（企業等派遣は4か月のものもある）の研修をやり遂げることはできない。

年度当初に長期研修実施要項や長期研修生募集要項等が通知され、秋に選考が行われる。選考に合格した者が、1月末に候補者として主たる研修場所（大学等）を決め、次年度に1年間の研修を行うこととなる。

(3)教育臨床研修は、子どもと親のサポートセンターが主催機関となる研修で、教育相談の実践的な研修と並行して大学での研修・研究が行われる。また、(5)企業等派遣研修は、千葉県が受け入れを依頼している企業の中から研修先を選び、民間企業等の経営手法や企業人の生き方等を学ぶ研修となっている。

5 おわりに

総合教育センターでは、年間10回の共通研修として、研修・研究を進めるために多岐にわたる講座を開催している。また、長期研修生は各分科会に分かれ、研究指導主事の指導の下、検証授業や調査研究を行い、報告書を完成させることとなる。

本年度は、61名の長期研修生が、4月6日の開講式を皮切りに研修生活を始めたところであり、その成果に大いに期待している。

令和2年度 長期研修生の研究の概要について

県総合教育センター総務課『千葉教育』編集部

昨年度までは、『千葉教育』各号に4名（蓮号のみ2名）、年間で22名の長期研修生の研究概要を掲載し紹介してきた。今年度は、毎号12名（蓮号のみ2名）の研究概要を掲載し、一年間かけて令和2年度長期研修生62名全員の研究概要を紹介することとした。

長期研修生にとって、研究内容をわずか8行、約300字で紹介するのは、大変なことだったと思う。県総合教育センターのWebページには、一人8ページにまとめた研究報告書を掲載しているので、各研究に興味をもった読者は、ぜひご覧いただきたい。

社会

「社会的事象の見方・考え方」を働かせ、思考力、判断力、表現力を成長させる単元モデルの作成

市川市立妙典小学校教諭（前同市立塩焼小学校教諭） ながせ さとる 永瀬 悟

児童が「社会的事象の見方・考え方」を働かせ、思考力、判断力、表現力を成長させるための単元モデルを考案し、第5学年の工業単元を通して検証授業を行った。モデルに基づき、「見方・考え方」を働かせる発問や追究活動を工夫したり、社会的事象の意味に迫るためのパフォーマンス課題を用いたりすることで、どの児童も追究の視点をもって事象の様子や特色を捉えたり、具体的な表現を用いて事象の意味を考えたりすることができた。

児童の追究の視点を大切にし、獲得した知識を活用して考え表現する学習活動や、そのための目的や立場を明確にした文脈性のある課題、それらを位置付ける単元展開が、児童の思考力、判断力、表現力を成長させるために有効であることが分かった。

体育

児童の自己有用感を高める体育学習の指導 ーボール運動「ハンドテニス」における実践研究を通してー

八千代市教育委員会学務課主査補（前同市立南高津小学校教諭） わたなべ かずのり 渡邊 和紀

日本の若者は、自尊感情が低いといわれている。そこで本研究では、自尊感情の向上に大きな影響を与える「自己有用感」を高めることを目的に、①再生刺激法（児童の活躍・貢献場面）の動画作成、②良いところ見つけカードの使用、③テニス新聞の作成を手立てと定めた。教材は「ハンドテニス（第6学年）」とし、「力強いストローク」と「打った後の動き」を重点的に指導したり、自作のラケットを使用したりして、検証授業を行った。その結果、「自己有用感の高まり」と「技能の向上」を主とする学習成果が得られた。これらのことから、ハンドテニスの技能向上と再生刺激法等の手立てによって、自分と仲間の活躍や貢献を認識させることが、自己有用感の高まりに効果的であることが認められた。